

【地方創生をめぐる現状認識】

- ① 人口・東京一極集中の状況
- ② 地域経済の状況
- ③ 地方創生をめぐる社会情勢の変化

④ 地方創生10年の成果と反省

- [成果] 地方移住への関心の高まり など
- [反省] 若者・女性の流出要因へのリーチ、
国と地方の役割の検討の不足 など

【地方創生2.0の起動】

- ① 3つの「目指す姿」 = 「強い」経済、「豊かな」生活環境、「新しい日本・楽しい日本」
- ② 6つの「基本姿勢・視点」 = 異なる要素の連携と「新結合」など
- ③ 政策の5本柱 = 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 など
- ④ 各主体が果たす役割 = 国、地方公共団体、地域の多様なステークホルダー
- ⑤ 今後の進め方 = 国:取組に早期着手、2025年中に総合戦略を策定
地方:取組に早期着手、地方版総合戦略を見直し

⑥政策の5本柱に対応した「政策パッケージ」

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (2)稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
～地方イノベーション創生構想～
- (3)人や企業の地方分散
～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- (5)広域リージョン連携

国の基本構想を 踏まえた道の対応

- 「第3期北海道創生総合戦略」見直しの検討
- 見直しと並行した施策の早期着手・磨き上げ

【北海道ブロックにおける地方創生タスクフォース会議（6/30）提案事項】

- 国の出先機関との連携による北海道創生支援

北海道における「地方創生2.0」推進体制【イメージ】

北海道ブロックにおける地方創生タスクフォース会議

内閣官房・内閣府

地方支分部局

北海道

札幌市

市長会・町村会

経済団体



北海道創生協議会

産学官金労言の関係機関

国の出先機関との連携による北海道創生支援パッケージ

地域が進めるプロジェクトの加速化
(多様な主体の広域連携・協働の推進)

北海道の優位性が高いテーマを支援

地域づくり連携会議(14振興局)

振興局

市町村

開発建設部

支援体制の
充実強化

他の地方支分部局

地域課題・ニーズ等の把握

市 町 村

「地方創生コンシェルジュ制度」の充実・強化
(市町村の課題解決サポート)

道内の地方支分部局の職員

- 専門的知見やノウハウの提供
- 課題解決に向けた相談・助言など



市町村サポート
の充実強化

北海道+内閣府北海道・東北地方連絡室

- 地域の課題に応じた人財のマッチング

地域が抱える様々な課題

地域の魅力を活かした食・観光施策

スマート農業

AIの活用

買い物弱者支援

GXの推進

通信インフラ

令和7年7月9日
庁議資料 3